

伊達市第3次総合計画策定のための
中学生アンケート調査結果報告書

令和4年1月

伊 達 市

目 次

I	調査の概要及び回答者の属性.....	1
1	調査の概要.....	1
	（1）調査目的.....	1
	（2）調査対象及び調査方法、回収結果.....	1
	（3）本報告書の留意事項.....	1
2	回答者の属性.....	1
	（1）性別.....	1
	（2）居住地域.....	1
II	調査結果.....	2
1	今の伊達市のことについて.....	2
	（1）市が好きか.....	2
	（2）今後の定住意向.....	4
	（3）市のよいところ.....	6
	（4）市に不足しているところ.....	8
2	これからの伊達市のことについて.....	10
	（1）今後のまちづくりの特色.....	10
	資料：調査票.....	13

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、伊達市第3次総合計画（令和5年度～令和14年度）の策定にあたって、市が好きか、今後の定住意向、市のよいところ、今後のまちづくりの特色など、中学生の意識やニーズを把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法、回収結果

項 目	内 容
調査対象	市内の中学2年生
配布数	461
調査方法	中学校での配布・回収（全数調査）
調査時期	令和3年9月
有効回収数	430
有効回収率	93.3%

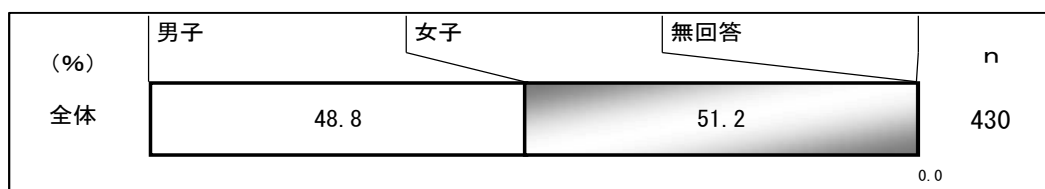
(3) 本報告書の留意事項

- ① 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 基数となるべき実数（人数）は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③ 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問です。従って、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。

2 回答者の属性

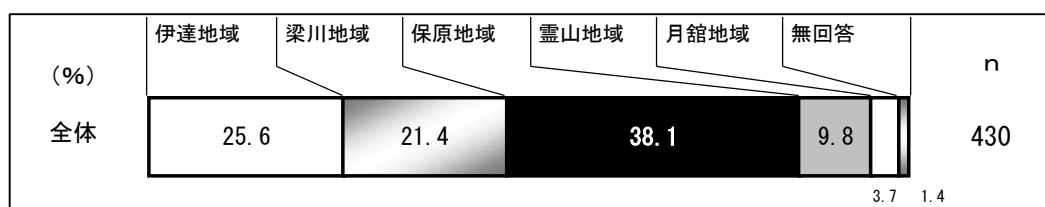
(1) 性別

回答者の性別は、「女子」が51.2%、「男子」が48.8%となっています。



(2) 居住地域

回答者の居住地域は、「保原地域」（38.1%）、「伊達地域」（25.6%）、「梁川地域」（21.4%）、「霊山地域」（9.8%）、「月舘地域」（3.7%）の順となっています。



Ⅱ 調査結果

1 今の伊達市のことについて

(1) 市が好きか

問2 あなたは、伊達市のことが好きですか。



● “好きだ” が 71.1%、“好きではない” が 4.9%。

中学生の市に対する愛着度を把握するため、「好きだ」、「どちらかといえば好きだ」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば好きではない」、「好きではない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「好きだ」と答えた人が 36.0%で最も多く、次いで「どちらかといえば好きだ」と答えた人が 35.1%で、これらをあわせた“好きだ”という人が 71.1%と7割を超えています。これに対し、“好きではない”という人（「どちらかといえば好きではない」2.8%と「好きではない」2.1%の合計）は 4.9%と5%程度で、中学生の市への愛着度は高いといえます。

市民アンケートの結果（市への愛着度）と比較すると、“好きではない（愛着を感じていない）”という率には大きな違いはみられませんが、“好きだ（愛着を感じている）”という率は中学生が約7ポイント低く、愛着度は中学生の方がかなり低い（市民の方がかなり高い）ことがうかがえます。

属性別で“好きだ”という率をみると、性別では、男子（73.4%）が女子（69.1%）を約4ポイント上回り、男子の愛着度がやや高いことがうかがえます。

居住地域別では、“好きだ”という率が高い順に、月舘地域（93.8%）、霊山地域（76.2%）、伊達地域（72.7%）、梁川地域（69.6%）、保原地域（67.7%）となっており、月舘地域の中学生の愛着度の高さが目立つ結果となっています。

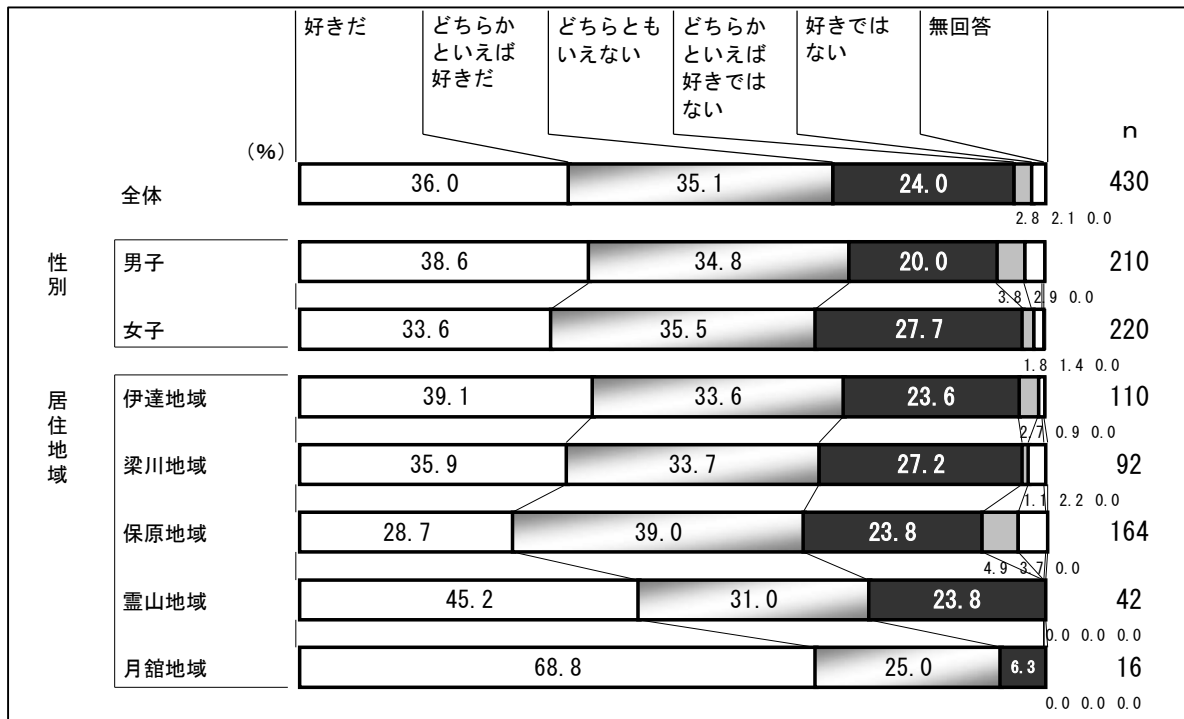
また、この居住地域別の結果を市民アンケートの居住地域別の結果と比較してみると、市民アンケートで“好きだ（愛着を感じている）”と答えた率が2番目に高かった保原地域が中学生では最下位になっていること、市民アンケートで“好きだ（愛着を感じている）”と答えた率が最も低かった月舘地域が中学生では最も高くなっていることなどの特徴がみられ、地域別にみた愛着度は、市民と中学生で大きく異なることがうかがえます。[図表1参照]

【比較】

市民アンケート

“愛着を感じている” が 78.2%、“愛着を感じていない” が 5.4%。

図表 1 市が好きか（全体・性別・居住地域）



(2) 今後の定住意向

問3 あなたは、将来も伊達市に住み続けたいと思いますか



- “住み続けたい” が 27.7%、“住みたくない” が 18.4%。

中学生の今後の定住意向を探るため、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「どちらともいえない」と回答を保留した人が54.0%と半数強にのぼっていますが、これ以外では、「どちらかといえば住み続けたい」と答えた人が17.7%で最も多く、これと「住み続けたい」(10.0%)をあわせた“住み続けたい”という人が27.7%と3割弱となっています。これに対し、“住みたくない”という人(「どちらかといえば住みたくない」12.8%と「住みたくない」5.6%の合計)は18.4%と2割弱という状況です。

市民アンケートの結果(今後の定住意向)と比較すると、“住み続けたい”という率は中学生が約52ポイント低く、定住意向は中学生の方が特に弱い(市民の方が特に強い)ことがうかがえます。

属性別で“住み続けたい”という率をみると、性別では、男子(31.9%)が女子(23.6%)を約8ポイント上回り、男子の定住意向がかなり強いことがうかがえます。

居住地域別では、“住み続けたい”という率が高い順に、保原地域(31.7%)、伊達地域(27.2%)、霊山地域(26.2%)、月舘地域(25.1%)、梁川地域(23.9%)となっており、愛着度(市が好きか)が最も低かった保原地域の定住意向が最も強く、特徴的な結果となっています。

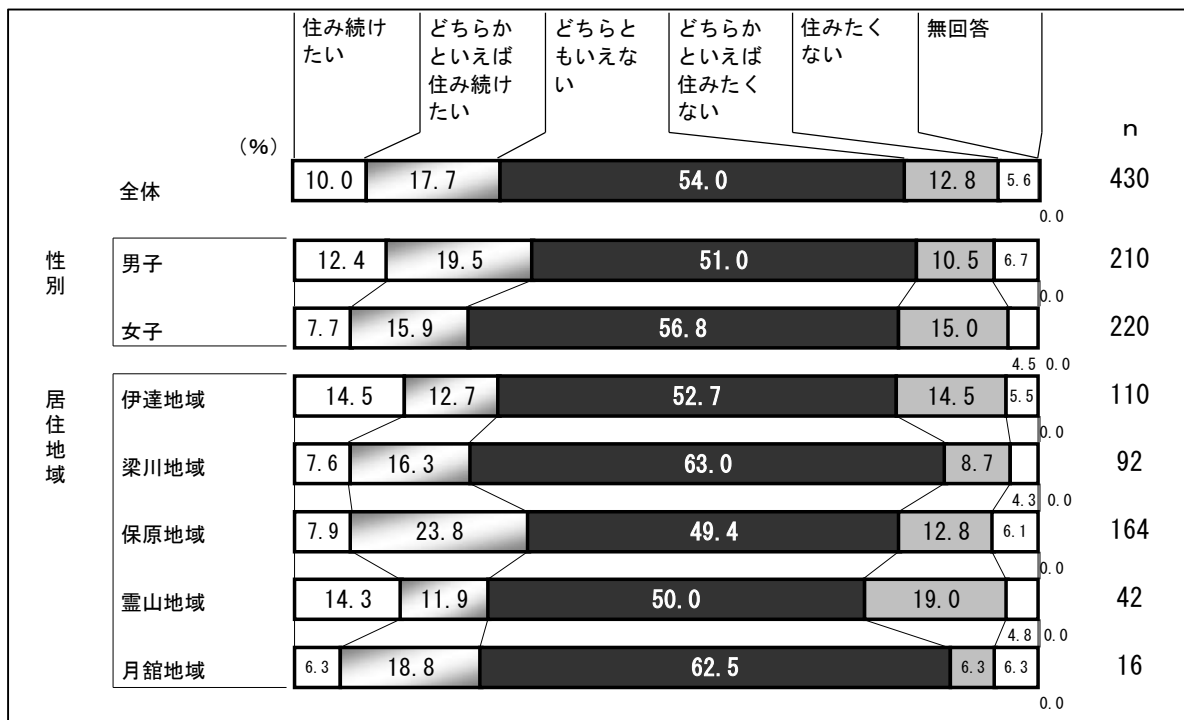
また、この居住地域別の結果を市民アンケートの居住地域別の結果と比較してみると、市民アンケートで“住み続けたい”と答えた率が最も高かった梁川地域が中学生では最下位になっていることなどの特徴がみられ、地域別にみた定住意向は、市民と中学生で大きく異なることがうかがえます。[図表2参照]

【比較】

市民アンケート

“住み続けたい” が 79.6%、“住みたくない” が 4.4%。

図表2 今後の定住意向（全体・性別・居住地域）



(3) 市のよいところ

問4 あなたは、伊達市に備わっているよいところは何だと思いますか。【複数回答】



- 「豊かな自然」が他を引き離して第1位。次いで「人のやさしさ」、「おいしい食べ物」、「住みやすい住宅地」、「歴史的なもの」の順。

市のよいところについては、「豊かな自然」(60.2%)が他を引き離して第1位、次いで「人のやさしさ」(35.1%)が第2位、「おいしい食べ物」(28.4%)が第3位、続いて「住みやすい住宅地」(18.8%)、「歴史的なもの」(18.4%)の順となっており、自然の豊かさをはじめ、人のやさしさやおいしい食べ物、住宅地、歴史的なものを市のよいところと感じている人が多くなっています。

これら以外では、「お年寄りや障がいのある人へのやさしさ」(14.4%)、「生活するための環境」(11.9%)、「買物の利便性」(10.2%)、「豊富な保育所や学校」(9.5%)、「お医者さんへのかかりやすさ」(9.1%)などの順となっています。

市民アンケートの結果(市の魅力)と比較すると、「豊かな自然」が第1位、「おいしい食べ物」が第2位あるいは第3位であることに変わりはありませんが、これら以外をみると、中学生では人のやさしさや歴史的なもの、市民では利便性があげられており、やや違いがみられます。

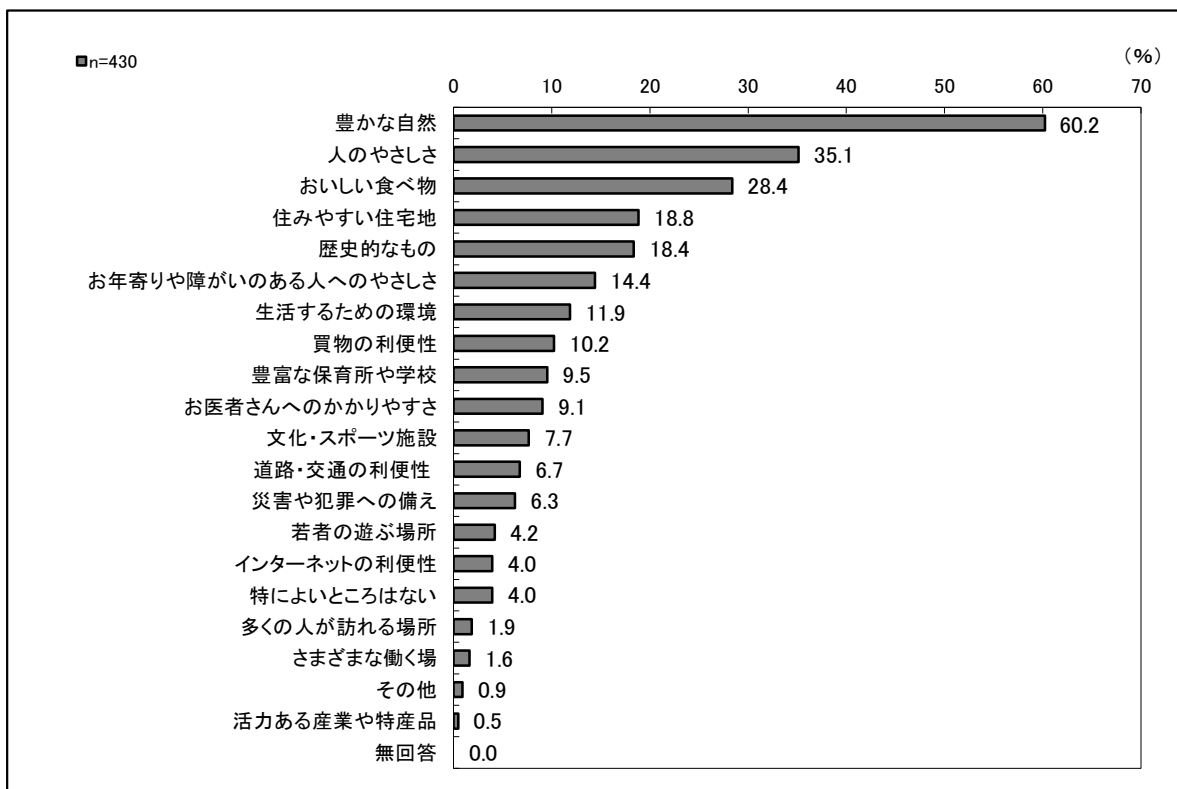
属性別でみると、すべての属性で中学生全体と同様に「豊かな自然」が第1位、「人のやさしさ」が第2位となっており、大きな違いはみられません。[図表3・4参照]

【比較】

市民アンケート

「豊かな自然」、「おいしい食べ物」、「買物の利便性」、「住みやすい住宅地」、「道路・交通の利便性」の順。

図表3 市のよいところ（全体／複数回答）



図表4 市のよいところ（全体・性別・居住地域—上位3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		豊かな自然 60.2	人のやさしさ 35.1	おいしい食べ物 28.4
性別	男子	豊かな自然 58.1	人のやさしさ 35.7	おいしい食べ物 24.8
	女子	豊かな自然 62.3	人のやさしさ 34.5	おいしい食べ物 31.8
居住地域	伊達地域	豊かな自然 49.1	人のやさしさ 34.5	おいしい食べ物 28.2
	梁川地域	豊かな自然 68.5	人のやさしさ 38.0	おいしい食べ物 28.3
	保原地域	豊かな自然 51.2	人のやさしさ 32.3	おいしい食べ物 28.7
	霊山地域	豊かな自然 97.6	人のやさしさ 38.1	おいしい食べ物 28.6
	月舘地域	豊かな自然 81.3	人のやさしさ 43.8	お年寄りや障がいのある人へのやさしさ 37.5

(4) 市に不足しているところ

問5 あなたは、伊達市の不足しているところは何だと思いますか。【複数回答】



- 「若者の遊ぶ場所」が他を引き離して第1位。次いで「多くの人を訪れる場所」、「文化・スポーツ施設」、「インターネットの利便性」、「買物の利便性」の順。

市に不足しているところについては、「若者の遊ぶ場所」(57.9%)が他を引き離して第1位、次いで「多くの人を訪れる場所」(33.3%)が第2位、「文化・スポーツ施設」(22.3%)が第3位、続いて「インターネットの利便性」(21.9%)、「買物の利便性」(19.1%)の順となっており、若者の遊び場をはじめ、観光資源や文化・スポーツ施設、インターネット・買物の利便性が不足していると考えの人が多くなっています。

これら以外では、「道路・交通の利便性」(14.7%)、「災害や犯罪への備え」(13.0%)、「さまざまな働く場」(11.4%)などの順となっています。

市民アンケートの結果（市に不足していること）と比較すると、中学生・市民ともに若者の遊び場や観光資源が上位回答となっていますが、中学生では若者の遊び場、市民では就労の場の不足を指摘する人が特に多くなっています。

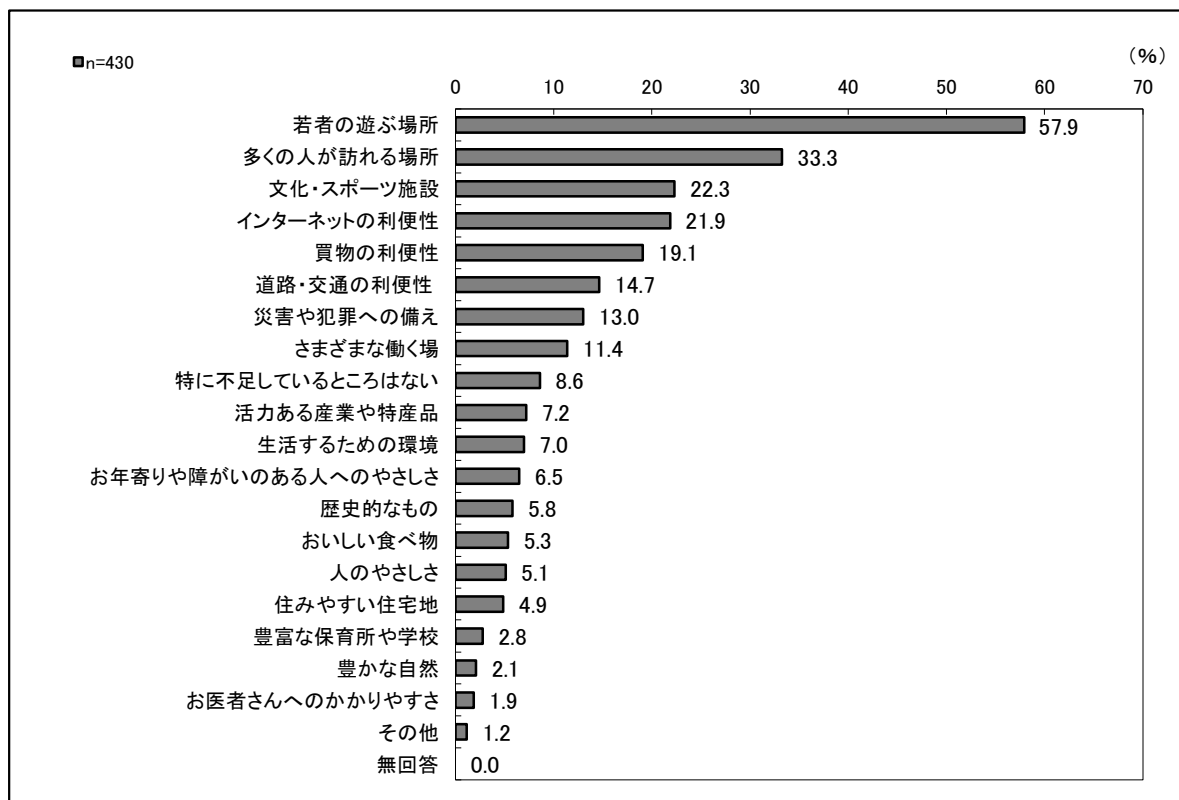
属性別でみると、ほとんどの属性で中学生全体と同様に「若者の遊ぶ場所」が第1位、「多くの人を訪れる場所」が第2位となっていますが、月舘地域では「買物の利便性」(43.8%)が第2位で、これは市民アンケートの居住地域別の結果（月舘地域では「買物の利便性」が不足していることの第1位）と同様の傾向を示しており、月舘地域では、中学生・市民ともに買物の利便性の悪さを指摘する人が多くなっています。[図表5・6参照]

【比較】

市民アンケート

「豊富な働く場」、「若者の遊ぶ場所」、「魅力ある観光資源」、「買物の利便性」、「道路・交通の利便性」の順。

図表5 市に不足しているところ（全体／複数回答）



図表6 市に不足しているところ（全体・性別・居住地域－上位3位／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		若者の遊ぶ場所 57.9	多くの人が訪れる場所 33.3	文化・スポーツ施設 22.3
性別	男子	若者の遊ぶ場所 51.0	多くの人が訪れる場所 31.0	文化・スポーツ施設 26.7
	女子	若者の遊ぶ場所 64.5	多くの人が訪れる場所 35.5	買物の利便性 21.4
居住地域	伊達地域	若者の遊ぶ場所 60.0	多くの人が訪れる場所 33.6	文化・スポーツ施設 21.8
	梁川地域	若者の遊ぶ場所 57.6	多くの人が訪れる場所 29.3	インターネットの利便性／ 文化・スポーツ施設 26.1
	保原地域	若者の遊ぶ場所 56.1	多くの人が訪れる場所 31.7	道路・交通の利便性／イン ターネットの利便性／文 化・スポーツ施設 21.3
	霊山地域	若者の遊ぶ場所 57.1	多くの人が訪れる場所 40.5	さまざまな働く場 31.0
	月舘地域	若者の遊ぶ場所 56.3	買物の利便性 43.8	多くの人が訪れる場所 31.3

2 これからの伊達市のことについて

(1) 今後のまちづくりの特色

問6 あなたは、今後、伊達市はどんなまちになったらよいと思いますか。【複数回答】



- 「安全・安心のまち」が他を引き離して第1位。次いで「快適住環境のまち」、「環境保全のまち」、「観光・交流のまち」、「健康・福祉のまち」の順。

今後、伊達市をどのような特色のあるまちにすべきかについては、「安全・安心のまち」(43.5%)が他を引き離して第1位となっており、次いで「快適住環境のまち」(27.2%)が第2位、「環境保全のまち」(20.7%)が第3位、続いて「観光・交流のまち」(17.7%)、「健康・福祉のまち」(13.0%)の順で、“安全・安心な暮らしの確保”をはじめ、“きれいで快適な生活環境の整備”や“自然や環境の保全”、“観光・交流機能の強化”、“保健・医療・福祉の充実”が望まれていることがうかがえます。

これら以外では、「商工業のまち」(10.9%)、「市民協働のまち」(10.7%)、「デジタル化推進のまち」(10.2%)などの順となっています。

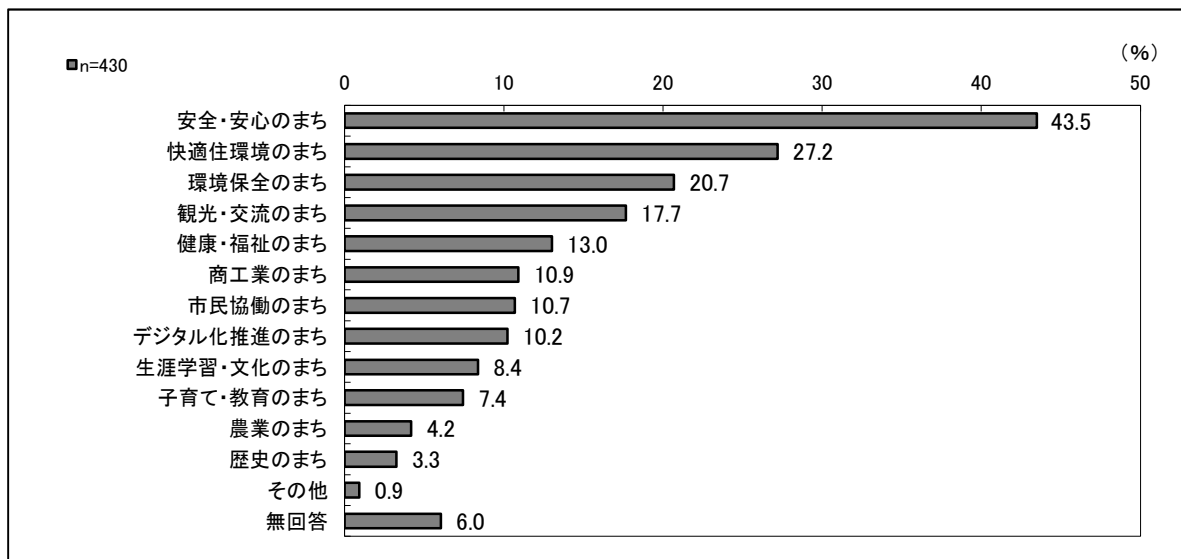
市民アンケートの結果(今後のまちづくりの特色)と比較すると、「安全・安心のまち」が第1位であることに変わりはありませんが、第2位以下をみると、中学生では住環境や環境保全、観光、市民では健康・福祉や子育て・教育を重視する人が多く、やや違いをみせています。

属性別でみると、ほとんどの属性で中学生全体と同様に「安全・安心のまち」あるいは「快適住環境のまち」が第1・2位を占めていますが、霊山地域では「環境保全のまち」(23.8%)が第2位となっており、霊山の豊かな自然や環境の保全を重視する人が多いことがうかがえます。[図表7・8参照]

【比較】

市民アンケート 「安全・安心のまち」、「健康・福祉のまち」、「子育て・教育のまち」、「快適住環境のまち」、「商工業のまち」の順。

図表 7 今後のまちづくりの特色（全体／複数回答）



図表 8 今後のまちづくりの特色（全体・性別・居住地域—上位 3 位／複数回答）

（単位：％）

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		安全・安心のまち 43.5	快適住環境のまち 27.2	環境保全のまち 20.7
性別	男子	安全・安心のまち 40.5	快適住環境のまち 27.1	環境保全のまち 21.0
	女子	安全・安心のまち 46.4	快適住環境のまち 27.3	環境保全のまち 20.5
居住地域	伊達地域	安全・安心のまち 39.1	快適住環境のまち 31.8	観光・交流のまち 21.8
	梁川地域	安全・安心のまち 47.8	快適住環境のまち 26.1	環境保全のまち 22.8
	保原地域	安全・安心のまち 43.3	快適住環境のまち 27.4	環境保全のまち 24.4
	霊山地域	安全・安心のまち 42.9	環境保全のまち 23.8	観光・交流のまち／健康・福祉のまち 21.4
	月舘地域	安全・安心のまち 56.3	快適住環境のまち 31.3	市民協働のまち 25.0

伊達市の今後のまちづくりのための 中学生アンケート調査ご協力をお願い



みなさんこんにちは。

さて、このたび伊達市では、今後のまちづくりを進めるために、どんなことを目標に、どんなことを行うかをまとめた伊達市第3次総合計画（令和5年度～令和14年度の10年間の計画）をつくることになりました。

このアンケートは、この計画をつくるにあたって、市内6中学校の中学2年生のみなさんのご意見をお聞きし、参考にするために行うものです。

これからの伊達市のまちづくりを、みなさんと一緒に考えていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いします。

令和3年9月

伊達市長 須田 博行

—— お答えにあたってのおねがい ——

1. お答えは、問ごとに（1つに○印）、（2つまで○印）など決められていますので、間違えないようにお願いします。

○印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①.）

2. お答えいただいたアンケート票は、担任の先生に提出してください。
3. このアンケートについて、質問などがありましたら、次のところをお願いします。

伊達市役所 未来政策部 総合政策課 経営戦略室

TEL：024-575-1142

FAX：024-575-2570

E-mail：manage@city.fukushima-date.lg.jp



はじめに、あなたのことについておたずねします。

問1 あなたのことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに〇印をつけてください。

(1) あなたの性別	1. 男子 2. 女子
(2) あなたのお住まいの地域 	1. 伊達地域 2. 梁川地域 3. 保原地域 4. 霊山地域 5. 月舘地域

今の伊達市のことについておたずねします。

問2 あなたは、伊達市のことが好きですか。(1つに〇印)

1. 好きだ 2. どちらかといえば好きだ 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば好きではない 5. 好きではない	
---	---

問3 あなたは、将来も伊達市に住み続けたいと思いますか。(1つに〇印)

1. 住み続けたい 2. どちらかといえば住み続けたい 3. どちらともいえない 4. どちらかといえば住みたくない 5. 住みたくない	
---	---

問4 あなたは、伊達市に備わっているよいところは何だと思いますか。（3つまで
○印）

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 豊かな自然 | 11. 歴史的なもの |
| 2. 道路・交通の利便性 | 12. 活力ある産業（農業・商業・工業など）
や特産品 |
| 3. 生活するための環境（上・下水道や
ごみ処理施設） | 13. 多くの人が訪れる場所 |
| 4. 住みやすい住宅地 | 14. 買物の利便性 |
| 5. インターネットの利便性 | 15. さまざまな働く場 |
| 6. 災害や犯罪への備え | 16. 人のやさしさ |
| 7. お年寄りや障がいのある人への
やさしさ | 17. おいしい食べ物 |
| 8. お医者さんへのかかりやすさ | 18. 若者の遊ぶ場所 |
| 9. 豊富な保育所や学校 | 19. 特によいところはない |
| 10. 文化・スポーツ施設 | 20. その他 |
| | （具体的に： |

問5 あなたは、伊達市の不足しているところは何だと思いますか。（3つまで○印）

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 豊かな自然 | 11. 歴史的なものの |
| 2. 道路・交通の利便性 | 12. 活力ある産業（農業・商業・工業など）
や特産品 |
| 3. 生活するための環境（上・下水道や
ごみ処理施設） | 13. 多くの人が訪れる場所 |
| 4. 住みやすい住宅地 | 14. 買物の利便性 |
| 5. インターネットの利便性 | 15. さまざまな働く場 |
| 6. 災害や犯罪への備え | 16. 人のやさしさ |
| 7. お年寄りや障がいのある人への
やさしさ | 17. おいしい食べ物 |
| 8. お医者さんへのかかりやすさ | 18. 若者の遊ぶ場所 |
| 9. 豊富な保育所や学校 | 19. 特に不足しているところはない |
| 10. 文化・スポーツ施設 | 20. その他 |
| | （具体的に： |



これからの伊達市のことについておたずねします。

問6 あなたは、今後、伊達市はどんなまちになったらよいと思いますか。（2つまで○印）

1. みんなが協力してまちづくりを行う市民協働のまち
2. 地震や大雨などへの備えがしっかりし、犯罪や事故のない安全・安心のまち
3. 子どもの保育や小・中学校の教育が充実した子育て・教育のまち
4. 学ぶ活動や文化・スポーツ活動がさかんな生涯学習・文化のまち
5. 歴史的なものを大切にし、まちづくりに生かす歴史のまち
6. 農業がさかんな農業のまち
7. 買物の場や働く場が整った商工業のまち
8. 多くの人を訪れる観光・交流のまち
9. みんなが健康でお年寄りや障がいのある人にやさしい健康・福祉のまち
10. 自然や環境にやさしい環境保全のまち
11. 快適に暮らせる快適住環境のまち
12. ロボットや人工知能などを使って新しいことを行うデジタル化推進のまち
13. その他（具体的に： _____）

まちづくりへの意見を書いてみてください。

◎ 最後に、伊達市のまちづくりのなかで、「こうしてほしい」、「こうしたらいいのに」ということがありましたら、1つだけ書いてみてください。

（例：〇〇に行く道路があぶないので、歩道をつけてほしい。）

（例：市をきれいにするため、みんなでごみ拾いをしたらいいのに。）

_____ [まちづくりへの意見] _____



ありがとうございました。

担任の先生に提出してください。